

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月20日

事業所名 てらびあぼけっと千葉中央教室

保護者等数(児童数)

13

割合 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11件	2件	件	件	●児童3人と先生1人が個室に入っており、コロナ禍で密になっている。	●(保護者お迎えまでの待機部屋のことと思われる)職員数に余裕がある場合は部屋を2つに分けることを検討する。 ●コロナ禍では一時、フィードバックの行わず、児童1人に対して職員1人でお迎え～お見送りまで対応していたので、感染状況に応じてそのような対応も必要である。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12件	件	件	1件	●職員(児童発達支援)が増えた。●コロナ禍で検温を何度もされ子供が泣いたことがある。	●利用者安心して利用してもらうために職員の役職や資格を教室内に掲示することも今後の検討事項。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13件	件	件	件	●壁の施錠やゲートが設置されている。 ●構造化された環境とは??	●事故防止の観点からも定期的な危険箇所の確認、改善を行っていく。 ●教室としてあえて構造化していない点もある。(例えばおもちゃ箱に絵を貼らずに文字で書いていくなど)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13件	件	件	件	●集団スペースと個室があって温かみがあり、スッキリとした環境である。	●整理整頓、コロナ禍においては安心してご利用いただくためにも、感染防止対策をしっかりと行っていることを具体的に伝える必要がある。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11件	1件	1件	件	●児童発達支援計画の更新は遅れていたが、今後説明してくれるとのこと。また事業所独自の計画のもと指導が行われていた。	●現在児童発達支援計画作成のために面談を実施しているが、未済の利用者については、今後できるだけ速やかに面談を実施したうえで作成する予定。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10件	2件	1件	件	●相談事業所の業務範囲なのか分からないが、子供の発達を総合的に見てアドバイスをする機会、機会がほしい。	●教室としては、ワークショップや個別相談を実施することによって、個別にアドバイスも行っているが、今後も引き続き行っていく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11件	1件	1件	件		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13件	0件	0件	件	●カリキュラムの進度によってやることは決まっているが、使う道具は変えてきている。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4件	1件	6件	2件	●そういう機会が必要だと感じない。 ●保育園との交流はない認識。	
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11件	2件	件	件	●代理受領通知書の見方がわからない。 ●車庫の際の駐車スペースがない。路上駐車の場合は教室から注意を受けている。二重のアンケートも無意味。(アンケートとは、路上駐車に伴う近隣のクレームにより、車利用の利用者に極力コインパーキングを利用していただく書面を配布したこと)	●代理受領通知書の見方について書面を配付するかは今後検討。 ●駐車場について、これまででもそうであるが、コインパーキングの利用を強制するのではなく、あくまで保護者の判断であるが、近隣からクレームがあった場合には状況に応じて丁寧な説明は必要。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11件	2件	件	件	●通年あるいは半期など一定のスパンで、わらいとそれに向けたカリキュラムなどを教えてほしい。 ●支援計画作成時に説明が丁寧であった。	●定期的に実施する児童発達支援計画作成時の面談の際に保護者の知りた情報をお伝えする。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5件	5件	1件	2件	●自宅でする取り組みがあれば教えてほしい。 ●今後に期待。 ●プログラムはあることは認識しているが参加はしていない。	●家庭支援については、保護者の協力など総合的に判断して実施していくことであるが、保護者の希望も確認しながら進めていく必要がある。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	11件	2件	件	件	●子供を褒めてもらえるのは大変嬉しいが、子供の直近の課題についても教えてほしい。 ●メールによる伝達の場合は情報が足りない。 ●対面でのフィードバックや連絡帳で共有できている。	●これまでも課題の情報共有は行っているが今後は保護者の方にわかりやすい説明を心がける。 ●メールによる伝達は要点を絞って見る側からして理解しやすいように心がけている。不足があれば面談を通してお伝えする。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9件	3件	1件	件	●定期的に面談してもらっている。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0件	3件	9件	1件	●定期的に面談が実施されている。 ●コロナ禍のため未実施。	●引き続き支援計画作成のための面談だけでなく、利用者のご希望や状況に応じて面談を実施していく。 ●保護者同士の連携については要検討。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11件	件	1件	1件	●迅速に対応できている ●質問に対して相談したとき「市役所に相談を」と促されたが、相談しても対応に期待できない。	●「市役所に相談を」を促したのとはらびあぼけっとで、相談しても期待できないのが市役所のことを指しているのが過去のやり取りでもあり確認できないため、どのように対応すべきか、現時点ではわかりません。
	17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11件	2件	件	件	●毎回のフィードバックで対応できている。	●コロナ感染防止対策のため対面でのフィードバックは5分を目処に行っているが、時間が足りない場合は、電話やメールでお伝えすることで、保護者への意思疎通、情報伝達はしっかりと行っている。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7件	1件	2件	3件	●最近、月次であった会報誌がない。	●ブログは2週間に1度配信しているが会報誌は昨年夏頃以来配信できていないので、日常業務に影響がないよう再開できるか要検討。
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	11件	1件	件	1件	●児童ひとりひとりにファイルがある	●個人情報の利用範囲は契約時に説明しており、管理は施錠できるキャビネットに管理しており、引き続き十分に注意する。	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7件	3件	件	3件	●自身の子供は参加したことがないが、実施していることは職員から報告があった。	●ビルでの定期的な防災訓練については、今後職員だけでなく、できるだけ児童にも参加していただく。 ●ビル内での訓練に参加することが難しい場合には、教室独自の訓練も必要(地震が起きたら机の下に隠れる、玄関に集合するなど。限られた療育の時間であるため、保護者に事前に同意を得て実施するなど)
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1件	4件	1件	7件	●訓練について定期的に話を聞くことはないが、避難グッズが見える位置にあるので安心している。	●安心して利用していただくためブログなども活用して報告
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	13件	件	件	件	●子供は通所をとても楽しみにしている。先生方のおかげだと思っている。	●これからも、利用者の皆さんには楽しみなが楽しんでいただける教室を目指していく。
	23 事業所の支援に満足しているか	12件	1件	件	件	●教室に通ってすぐ伸びたので感謝している。 ●約1年の間に管理者が3度も変わっており、心配している。すぐに辞めないでほしい。	●これからも保護者の皆さんには、てらびあぼけっとを利用してよかったと思われるような教室運営に取り組んでいく。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月20日

事業所名 てらびあぼけっと 千葉中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6件	件		●(保護者お迎えまでの待機部屋のことと思われる)職員数に余裕がある場合は部屋を2つに分けることを検討する。 ●コロナ禍では一時、フィードバックの行わず、児童1人に対して職員1人でお迎え～お見送りまで対応していたので、感染状況に応じてそのような対応も必要である。
	2 職員の配置数は適切であるか	5件	1件	●必要に応じて声をかけあって連携をとっている。	●適切でないときもあるので改善すべき点は改善する。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5件	1件		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6件	件	●掃除、消毒、整理整頓を行い、安心安全は空間を提供できるように努めている。	●整理整頓、コロナ禍においては安心してご利用いただくためにも、感染防止対策をしっかりと行っていることを具体的にお伝えする必要がある。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6件	件		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件	件		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3件	2件	●本部HPにて公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	5件		●以前清防の方にベランダに置いてあるトイレ便器の移動の指示があったが、置く場所がなくそのままになっている。(開所時に子供用トイレ設置のため、当初設置されていたトイレ便器を取り外したため処分せずに保管)
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件	1件		●外部研修については予算の範囲内で可能であれば実施していく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6件	件		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件	件		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件	件		●教室としては、ワークショップや個別相談を実施することによって、個別にアドバイスも行っているが、今後も引き続き行っていく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件	件	●支援計画をもとに、児童の変化に合わせた支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6件	件		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4件	1件	●定着を目指し、あえて固定しているプログラムもある。定着したら次のステップに移行することはできている。	●行事に合わせた、プログラムも実施していきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6件	件		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件	件		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件	件		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件	件		
20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3件	1件			
関係機関や保護者との	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1件	3件		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4件	件	●相談支援事業との連携はできている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	件	●医療ケア児は通所していない。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	件	●医療ケア児は通所していない。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2件	2件		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2件	2件		

連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3件	1件		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	件	5件		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	件	5件		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件	件		●これまでも課題の情報共有は行っているが今後は保護者の方にわかりやすい説明を心がける。 ●メールによる伝達は要点を絞って見る側からして理解しやすいように心がけている。不足があれば面談を通じてお伝えする。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	3件	1件		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4件	件		●代理受領通知書の見方について書面を配付するかは今後検討。 ●駐車場について、これまでもそうであるが、コインパーキングの利用を強制するのではなく、あくまで保護者の判断であるが、近隣からクレームがあった場合には状況に応じて丁寧な説明は必要。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4件	1件		●教室としては、ワークショップや個別相談会を実施内容をお伝えし、今後の計画作成のためのお聴き取りにつなげていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件	件		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1件	5件		●ある程度利用者のニーズが合致すれば開催、支援することは良いことだと思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件	件		●職員の人員など体制が不十分で出来なかったこともあると思う。今後やっていきたい。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件	1件		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件	件		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件	件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2件	4件		●ワークショップや相談会を実施した。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3件	2件		●マニュアルの所在がはっきりしていないため確認をする。必要に応じて作成。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2件	3件		●安心して利用していただくためブログなども活用して実施とともに報告もおこなっていく。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6件	0件		●契約時にお聞き取りはしているが、得た情報については職員間で定期的に再確認することが必要。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4件	2件			
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件	件			
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件	件			
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5件	1件			